

平成 27 年度「学校教育自己診断」の集計結果について

平成 27 年度の調査では、肯定的な回答（よくあてはまる・ややあてはまる）が、前年度より向上した項目が、各 25 項目中、生徒では 17 項目、保護者でも 19 項目あるなど、全体的に肯定的な回答が増えています。

生徒の回答では、「本校の授業は、知的好奇心を抱きやすいなど、内容が濃い」（74%→78%）「本校の授業は、分かりやすく楽しい」（72%→78%）「本校の授業には、プロジェクター等の視聴覚機器やコンピューター等の電子機器が積極的に取り入れられている」（83%→87%）などの授業改善に関する項目をはじめ、「本校の教職員は、生徒の進路実現に向けて積極的に取り組んでいる」（83%→87%）といった進路指導の充実、さらには「本校には、心身の健康について気軽に相談できる環境（保健室や教育相談）が整っている」（71%→75%）「本校の教職員は、いろいろな問題を見逃さずに対応してくれている」（69%→73%）などの相談・支援体制の充実に関する項目が向上しており、年間目標として、教職員が意識を高めて取り組んだ項目について、さっそく成果が表れたものと喜んでいます。

保護者アンケートにおいても、「学校は、家庭への連絡や意思疎通を積極的に行っており、信頼感がある」（77%→81%）と、最も基本となる学校との良好な信頼関係についての肯定的回答の増加を背景に、ほぼ生徒と同じ項目において、肯定的回答の増加がみられました。

中でも、項目別では「本校では、校風・校是『自由と創造』『日新日進』を踏まえた、高津高校らしい授業や教育活動が行われている」（保護者 93%）、「本校の記念祭をはじめとする学校行事やSSH・GLHSとして設定されている活動は、充実している」（保護者 90%）、「高津高校に入学してよかった」（生徒 90%）、「自分の子どもを高津高校に入学させてよかった」（保護者 93%）などが、90%を超える高い評価となりました。

生徒たちの多くが、真剣に授業に取り組むとともに、学校行事やクラブ活動等にも積極的に参加するなど、充実した高校生活を過ごせていることが、うまく保護者にも伝えられているものと安心しています。

このように、多くの生徒が高校生活を満喫し、保護者の皆様も、概ね安心してお子様の教育を学校に委ねていただいているものと認識していますが、授業力の向上、進路指導の充実、相談・支援体制の充実などは、さらなる向上をめざして、今後も取り組んでいくべき永遠の課題であると捉えています。引き続き、高津高校の良き伝統は継承しつつ、GLHS及びSSHとしての特長をますます高められるよう、さまざまな教育活動を展開していきたいと考えています。

一方、「本校の教室・廊下・トイレ等の環境は、学習の場にふさわしく清潔に保たれている」（生徒 51%・保護者 60%）は、昨年度も課題として挙げられており、引き続き、環境整備に取り組んでいく必要を感じています。

また、自由記述欄にも多くのご意見を記入していただきました。これらの個々の内容についても、生徒・保護者の貴重なご意見として真摯に受け止め、丁寧に検証しながら、改善すべき点は、ためらうことなく改善に努めていきたいと考えています。